

8月2日

歓迎！山本（力）さんが入団されました。

□ 8月2日（金）の定例レッスンは、奥村さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングにはじまり、本並先生の指揮と森さんのピアノで、「八木節」と「春なのに」（崔さんのチェロ付き）、伊藤さんの指揮で、つづてソングから「放射能」と「街を返せ」をレッスンしました。参加は全37名でした。

□ この日のうれしいニュース、山本力（つとむ）さんが、新入団されました。千秋昌弘ソロコンサートを聴き、千秋さんのうたに対する姿勢に共感して入団を決意されたとのこと。大歓迎です。千秋団長はじめ昇の我々と一緒に合唱を大いに楽しみましょう。

□ この日は「春なのに」の演奏のために、田辺さんのお友達の崔（チェ、choi）さんに大きなチェロを抱えて参加していただきました。ピアノ、チェロ、千秋ソロ、合唱と役者が全部そろってのレッスンです。まだまだ合いませんが、回をかさねて仕上がっていくと良いと思います。



男声合同曲「おらぁごががいい」の合同レッスン日

- 次は 8月20日（火）16：00～17：30 ねむかホール
- その次は 9月 1日（日）12：00～13：00 港区民センター（地図つき案内配布済み）
- その後 9/15（日）、10/13（日）10/20（日）と続きますが改めて案内します。

※昇団員は積極参加して合同レッスンを成功させて下さい。

日うたへカウント90 さあステップ！ ジャンプ！

グレートシングアウトの盛り上がりを日うた成功へ

8/4 国労会館で30サークル、100名が参加し、うたごえ新聞編集長の三輪さんを迎えてうたごえの創始者関鑑子さんのグレートラブ—人類愛—をたっぷり語っていただきました。戦時中に芸芸許可書を取らず戦争に協力する演奏活動をしなかったこと。戦争が終わるとすぐ「インターナショナル」を歌ったこと、戦争を防げなかったことを悔いて「平和の砦」を作ることを決意して、1人の専門家より100人の演奏家育てることを決意し「うたごえ運動」を始めたこと。何と4年間ですべての都市に合唱団ができたこと。当時はマスコミにも大きく取り上げられブームになったこと。うたごえの原点である創作と演奏普及を貫き、「原爆を許すまじ」をワルシャワ青年平和友好祭典で7ヶ国語に訳して世界中に広げたこと。などあっという間の1時間でした。



たくさんの感想を紹介します。「改めてうたごえの素晴らしさを再確認できた」「日うたの取組が仕事をしながら疲れていましたが前向きにやっていけそうな気になりました」「音楽で平和の砦を築くが胸にグッときました。その意思を受け継ぎたいと思います」「私もうた新をもってうたごえを広げていきます」「うたごえ運動をどういう思いで



始めたか、自分たちが受け継いでいるものが何なのか学べてよかった」などたくさん寄せられ65周年のうたごえ祭典の成功への大きなステップになりました。

その後日うたへの各分野の歌発表や取り組み状況が話され、大きく打って出ているところやなかなか厳しいところもあり、励ましの場になりました。

その後人生70年・うたごえ50年の歌う市会議員としてたくさんのサークルの中で活躍されてきた千秋昌弘さんのテノールソロを聞き、うたごえの深さに感動し、会場が一体となって歌い踊り楽しいうたごえ会で締めくくりました。祭典まであと90日、本当に大阪が、いえ全国が一丸となって「歌って参加」の運動を大きく広げる忙しい時ですが、みんな「こころひとつに」ジャンプできた楽しい集いとなりました。

※昴から12名参加しました。

日うた宣伝委員長 立川孝信